学校番号	３０４

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	生物基礎（実教出版）						
副教材等	新課程　リードα生物基礎（数研出版） リードα生物基礎　完成ノート（数研出版） スクエア最新図説生物（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「生物基礎」では、ヒトと自然について「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」という３つの視点で科学的に見ることで、我々がどのように生き、行動すれば、生命や自然を大切にすることになり、自らが健康な生活を送ることが出来るのかを考えていきます。この２つの問題を常に意識して、この１年間学び考え続けてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生命現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
【思考力・判断力・表現力等】
身の回りの自然や生命科学の発展との関係を図りながら、実験や観察を通して手法の工夫や多面的な判断力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
社会が抱えている課題に生命科学分野からどのようにアプローチできるかを調べ学習で理解し、実験や観察、発表等を通して自ら学び伝える力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生物と遺伝子	生物の多様性と共通性 細胞とエネルギー 遺伝現象と遺伝子 遺伝情報の複製と分配 遺伝情報とタンパク質の合成 生物と遺伝子に関する探究活動	a: 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し、知識を身に付けている。 ＤＮＡの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解し、知識を身に付けている。 b: 体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し、導き出した考えを表現している。 c: 生物の多様性と共通性、遺伝現象と遺伝子に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	定期考査 提出物 小テスト	定期考査 提出物 ワークシート グループワーク	実験観察 グループワーク 提出物
2	生物の体内環境の維持	体液とその働き 生体防御 体内環境の維持のしくみ 生物の体内環境の維持に関する探究活動	a: 体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し、知識を身に付けている。 b: 病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を保つ仕組みを考察し、導き出した考えを表現している c: 体内環境について関心をもち、意欲的に探究しようとする。	定期考査 提出物 小テスト	定期考査 提出物 ワークシート グループワーク	実験観察 グループワーク 提出物
3	生物の多様性と生態系	バイオームの形成過程 バイオームとその分布 生態系と物質循環 生態系のバランスと保全 生物の多様性と生態系に関する探究活動	a: 地球上には様々な植生がみられ、長期的に移り変わっていくこととそのしくみを理解し、知識を身に付けている。 b: 「生物の多様性と生態系」に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c: 気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。	定期考査 提出物 小テスト	定期考査 提出物 ワークシート グループワーク	実験観察 グループワーク 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度